

〔第3回学術大会シンポジウム「ジェネリック医薬品に求められる情報の現状と課題  
～くすり相談窓口への問合せ内容から～」要旨〕

## ジェネリック専門メーカーの悩み

市川 尚弘 NAOHIRO ICHIKAWA

大正薬品工業株式会社 学術情報部

キーワード：ジェネリック，悩み，誤解，情報，コスト

### 1. はじめに

ジェネリック医薬品使用促進の流れの中で、品質、安定供給と共に重要視されているのが、情報提供である。弊社の製品情報室には、医療機関、保険薬局の先生方を始め、一般の方々まで多くの方々からお問い合わせを受ける。今回、2008年のお問い合わせ実績を分析し、傾向を見た。またお問い合わせの中には、対応に悩むような、ジェネリック専門メーカーのお問い合わせ窓口ならではのと思われる内容がある。それらの例を紹介しながら、GE専門メーカーの情報提供の現状を報告する。

### 2. お問い合わせ分析

#### (1) お問い合わせ元分析

この期間に製品情報室に寄せられたお問い合わせは全部で1521件であったが、MRを経由してきたものが217件あり、分析の都合上、お問い合わせ元としては含めず1304件を分析対象とした(Table 1)。

お問い合わせ元分析では、最も多かったのは薬剤師の方々からのお問い合わせであり、総数826件63.3%を占めている。そのうち保険薬局薬剤師から566件で全体の43.4%を占めている。これは弊社の製品が内服剤が大半であるため、院外で処方され

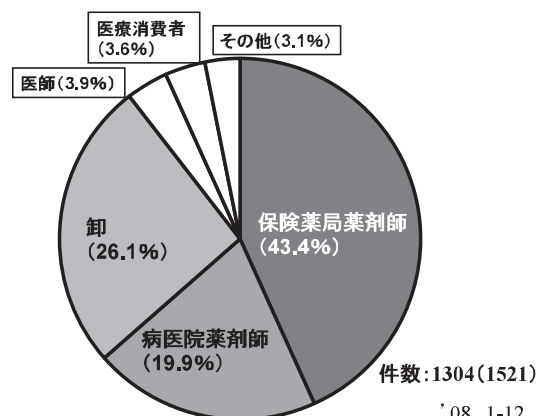
ることが多いことと関連していると思われる。病院、医院の薬剤師の方々からのお問い合わせは、260件あり全体の19.9%となっている。この後のお問い合わせ内容の分析では、この卸からのお問い合わせ分も省き826件を対象とした。

#### (2) お問い合わせ内容分析

弊社では内容を表のように分類している(Table 2)。

お問い合わせの多い大項目は品質と安全性である。品質の内容としては、生物学的同等性や溶出試験、また無包装や粉碎後の安定性などのデータに関するものを含めている。但し無包装や粉碎といった適応外の使い方のお問い合わせでは、製品によって

Table 1 お問い合わせ元



\* 〒 520-3433 滋賀県甲賀市甲賀町大原市場 3 番地  
TEL: 0748-88-3366 FAX: 0748-88-2780  
E-mail: Ichikawa@taishoyakuhin.co.jp